



平成27年10月
第2号

上山市消防団
活性化推進委員会
発行

平成27年度
山形県・上山市
合同総合防災訓練

まもる



倒壊建物救出訓練



心肺蘇生法及び
AED取扱い訓練



大規模火災防ぎょ訓練



初期消火訓練

平成27年度

山形県・上山市合同総合防災訓練

消防団の活躍

9月6日（日）、県・市合同総合防災訓練が本庁地区を中心に行われました。

消防団員をはじめ、一般住民も数多く参加した今回の訓練は大規模地震を想定し、建物倒壊・土砂災害・火災発生など様々な災害を想定して本番さながらの緊迫感溢れる訓練となりました。

なかでも、「倒壊建物救出訓練」は、県合同訓練では初となる消防団と自主防災会との連携訓練が行われ、壊れた建物から下敷きになった怪我人を迅速に助け出すことができました。

また、南小学校付近での大規模火災防ぎょ訓練では、大地震により消火栓の使用ができない状態を想定し、プールや川の水を利用した放水を行いました。

他にも、「初期消火訓練」や「心肺蘇生法及びAED取扱い訓練」などでは、消防団員が住民に直接指導を行い、わかりやすく丁寧な説明により、住民から高い評価を受けました。

また、交通整理や訓練進行における裏方としても、多くの消防団員が協力し、当訓練は成功しました。

第34回上山市消防操法審査会

平成27年度山形県消防協会東南村山支部 消防操法大会



標的に向け放水
(東南村山支部消防操法大会)

7月12日(日)に上山市消防操法審査会が行われ、各分団から1隊出場し、最優秀は第1分団第5部(金生)、優秀は第8分団第6部(永野)となりました。

8月23日(日)に行われた、東南村山支部消防操法大会は上山市民球場駐車場を会場とし、山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町の3市2町で小型ポンプとポンプ車の操法の技術を競いました。

本市からは、第8分団第8部(蔵王)が小型ポンプの部に、第4分団第4部(藤吾)がポンプ車の部に出場しました。

出場団員はそれぞれの仕事のかたわら、日夜練習に励み訓練の成果を発揮。どの出場隊もレベルの高い操法を披露し、会場からは盛んな声援、拍手がおくられていました。結果は、ポンプ車の部で優勝、小型ポンプの部で入賞しました。



ホース延長のため全力疾走
(上山市消防操法審査会)



大会に向けての夜間訓練

平成27年度山形県消防協会 東南村山支部消防操法大会・優勝 (第4分団 第4部)



出場隊員：山口 治、吉田 秀稔、伊藤 友輝
鏡 義彦、工藤 正和、羽島 拓己



「操法」とは消防団員が小型ポンプやポンプ車を使って、迅速、確実かつ安全に消火活動を行うために定められた消防用器具の取扱い及び操作の基本をいいます。審査方法は、ホースを結合・延長しポンプを使って放水を行い、標的に当てるまでの時間を競いあうほか、動作の正確さや作業の安全性も審査されます。

災害活動から

消防団による地域の生命・財産を守る活動が行われています。



①



③



②

- ①家屋に迫る土砂崩れの拡大を防ぐ風水害活動 ②炎に近づきながら、懸命な消火活動
③火災での消火活動（消防団から多くの放水が行われている）

《上山市消防団これからの行事予定》

- 10月から11月 秋季消防演習（各分団）
- 11月9日から15日 秋季火災予防運動
- 平成28年1月10日 上山市消防出初式



消防団では災害活動のほかにもいろんな活動をしています。
今回は、第8分団（中川地区）での活動をご紹介します。



中川地区内をまわりながら、小学生の皆さんが広報活動を頑張りました。

中川地区では、毎年『明るいやまがた 夏の安全県民運動』に合わせ、小中学生が夏休みに入った7月末の日曜日に、交通安全及び水などの事故や犯罪のない住みよい地域をめざし、夏の安全パレードを実施しています。

31回目となる今年は7月26日（日）に実施。1日警察官に任命された小学生6人とともに、パトカー2台、市安全指導車1台、防犯協会中川支部から7台、そして消防団からは、金谷と甲石の軽積載車2台の計12台で行われました。

この行事は、上山市内でも当地区のみの行事です。今後も事故や犯罪のない中川地区をめざし、この活動を永く続けていきたいと思います。

新入団員紹介

今年度消防団に入団した31名の中から2名の団員を紹介します。

五十嵐 成士郎 さん
(第1分団)



消防団は地域の防災の要であるということを常に意識して、活動に励みたいと思います。先輩方の足を引っ張らず、貢献できるよう自分の役割をしっかりとやっていこうと思います。



消防団活動に積極的に参加し、多くの経験を積んで早く諸先輩方に頼りにして貰えるように頑張ります。また、常に向上心を持って団活動に取り組み、地域に愛される団員を目指します。

大内 駿 さん
(第9分団)

消防団 資機材紹介

消防団車両について



近年において消防団活動は、消火活動はもちろん、自然災害における救助活動にも対応すべく、消火資機材のほか、チェンソー、油圧カッターなどの救助資機材搭載型の車両が全国的に配備されつつあります。本市消防団では、二日町(第1分団)、中山(第9分団)に配備されています。

消防団サポート事業所

消防団では、市内外の事業者から協賛を頂いて、サポート事業に取り組んでおります。協賛事業所の一つでは、清涼飲料の自動販売機を市内3ヶ所に設置し、売り上げの一部を、消防団活動の為に支援金として頂いております。また、市内40の事業所からは、団員が利用した時に割引などの特典を付けて頂いております。次号より消防団サポート事業所を順次ご紹介いたします。



消防団員募集

「自分たちのまちは自分でまもる」
「自分の行動が地域をまもる！」
地域のために何かやりたいと思っているなら、共に活動しませんか。
あなたの入団をお待ちしております。

問合せ：上山市消防本部 庶務係
電話 023-672-1190



◆ 編集後記

今夏猛暑の中、県・市合同総合防災訓練や東南村山支部消防操法大会が行われました。参加団員においては、迫力ある掲載写真からわかるように、日頃からの訓練成果を発揮することができました。これからも災害発生時には迅速な対応ができるよう、訓練を重ねます。

今後、安心・安全な上山市を目指す消防団の活躍をお伝えします。

これからの時期は寒さ厳しい冬が待っています。暖房機の取扱いは十分注意しましょう。
火の用心『カン、カン』